

DXを活用した防災事業の高度化

●維持管理に必要な情報を統合したデジタルツールを構築し、防災点検業務にとどまらず、今後のインフラ設計・施工・維持管理の合理化に向けたCIM統合システムを活用するものです。

● GIS位置情報システムと3次元地形等の基盤データを統合したプラットフォームに点検記録や地質データ等の属性情報を紐づけたCIM統合モデルを構築しています。

維持管理における技術的課題

- ① 道路・トンネル・橋梁などのインフラの点検業務の細分化と防災情報の複雑化
- ② 災害の頻発、南海トラフ地震に備えた緊急対応の必要性、災害リスクの解析・評価
- ③ 技術者不足による若手技術者の防災技術や点検技術の技術力低下やノウハウ不足
- ④ 点検・設計・施工・維持管理への防災情報の継承

CIM統合モデルによる活用効果

- ① 点検精度の向上、維持管理の高度化
- ② 被災形態や発生機構・分析の高度化
- ③ 災害発生時の迅速な対応
- ④ 現場作業の安全性向上

